

名前 年組

食品シェアでロス削減

湯沢市は9月2日、フードシェア事業「ゆざわタベスケ」を始める。市内の食品、飲食事業者らが消費期限が迫り早期に売り切りたい商品を割り引くなどしてインターネット上に出品、市民ら利用者に通知し、購入してもらう仕組み。食品ロスを抑えるとともに地域経済の活性化を図る狙いがある。市によると、県内では初の事業化となる。

市民に関わってもらおうと企画し、インターネット上の食品ロス削減マッチングサービス「タベスケ」を活用した。湯沢市では8月28日現在、和洋菓子など小売店のほか、焼き肉や稲庭うどんなどの飲食店を含む41店が参加を予定している。購入できる利用者は市民に限定しておらず、ネット上から登録すれば対象になる。


市は2022年6月、50年までに二酸化炭素(CO₂)の排出量を実質ゼロにするとする「ゼロカーボンシティ宣言」をしている。フードシェア


事業は目標の実現に向けた施策の一環。食品の廃棄で生じるCO₂の排出量削減に向け、


「ロス」無駄。損失のこと。
 ※【事業化】大きく社会に貢献する
 ような仕事をすること。
 ※【廃棄】いらなくなった物を捨てること。


秋田魁新報2024年8月29日付より。記事は手直ししています。

1 この記事を読んで4人が話しています。記事の内容と合う発言をしている人を全て選んで に書きましょう。

A  売れ残りが減るし、ごみに出したり焼いたりする時の二酸化炭素も減らすことができるんだね。事業者にとっても地球にとってもいいことだね。

B  参加する事業所と利用する人が増えれば増えるほど、食品ロスの削減が進むんだね。

C  湯沢市では、とってもいい取り組みを考えたね。でも、わたしは、湯沢市民じゃないから利用できなくて残念だわ。

D  秋田県のほとんどの市町村で導入しているタベスケの取り組みをもっと広げたいな。

2 記事と次の資料を読んで、下の文の に言葉や文を入れましょう。

【資料1】消費者庁などの推計によると、2022年度の食品ロスは全国で472万ト。これを運搬、焼却処分するにあたり、1046万トの温室効果ガスが排出される。

◆ 「ゆざわタベスケ」に取り組むことで売れ残りが減り、食品の廃棄で生じる や を減らすことが期待できる。

【資料2】秋田魁新報の社説(9月15日付)によると、開始から10日間で食品ロスの削減量は60キ弱だそうだ。また、「ゆざわタベスケ」には、登録事業者は40店以上、利用者として1000人以上が登録しているそうだ。

◆ 資料1と資料2を読んで、「ゆざわタベスケ」がさらに食品ロスの削減効果を高めるためにはどうしたらよいと考えますか。「登録事業者」「利用者」の言葉を使って書きましょう。